

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)	◎	商店街（代表者）	・人の動きがある。年度末からゴールデンウィークにかけて、新型コロナウイルス感染症の悪影響が出ないことを期待して、右肩上がりを予想している。
	◎	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の収束はめでたいことである。後は、ロシア戦争の終結を祈るだけである。
	◎	高級レストラン（経営者）	・新入学や異動の時期でもあり、会食機会も更に増えると思われる。
	◎	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息することが前提だが、余り新規感染者数も増えなくなってきたので、もう大丈夫ではないか。企業の宴会禁止などが早く解除してもらえるように、国からも働きかけてもらいたい。
	◎	観光型旅館（経営者）	・旅行に行きたいという個人客の欲求はあるようだが、冬は雪が降るため首都圏からの個人客の動きは見られなかった。春になると雪の心配がなくなるので、桜の時期やゴールデンウィークを中心に、予約が新型コロナウイルス感染症の発生前の85％程度まで回復してきている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・これからはますます、お別れの会の後、火葬をして葬儀を終了とするパターンが増えてくると思う。何よりも費用が掛からない上に、新型コロナウイルス感染症の3年間で、葬儀に対する考え方が変わってきている。
	○	百貨店（経理担当）	・物価上昇による消費の足踏みは懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を脱しつつあり、高額品や化粧品等の身の回り品の需要が高まることが期待できる。
	○	百貨店（店長）	・このところ、売上が前年をクリアし、今月は2けたの伸びになっている。また、来客数も増えている。社会生活が戻ってくれば景気も徐々に回復してくるのではないかと期待している。
	○	スーパー（副店長）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下がり、季節も暖かくなるので、行楽に出掛ける機会も増え、経済活動は今よりも活発になるのではないかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少してきていることにより、やや客の動きも良くなって、いろいろと消費が伸びるのではないかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・気温が上がり、飲料等の購入頻度やついで買いも増えると思われる。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・今までよりは景気は良くなるのではないかと期待している。人も動いており、いろいろな集まりも復活してきている。また、インバウンドの話もよく聞くようになってきたので、物価上昇は心配だが、やや良くなるかと期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変わることに対して、消費者がどう反応するか。春闘後の賃上げで物価上昇をカバーできるのか疑問が残るし、先行き不透明なことには変わりがない。
	○	一般レストラン（経営者）	・期待感ではあるが、新型コロナウイルスの感染状況も若干落ち着きを見せ、外出にある程度慣れてきて動きが出ている。自治体関連の経済対策も終了してきているので、独自の割引策等、値上げと合わせて新手法を考えているところである。乗り遅れないよう、準備中である。
	○	スナック（経営者）	・来月からマスクの着用が自己判断となるという報道もあるなか、段々と新型コロナウイルス感染症のことを余り気にせず飲食する方が多くなってきている。また、多少ではあるものの団体客なども動き始め、少しは良くなる方向に向かうと思うので、若干期待はしている。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が終了することで、確実に利用者数は減少傾向になる。しかし、5月8日以降に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更されることで、現状からみて確実に法人や団体利用が一段と増加すると予測される。一時的に利用者減少もあると思うが、減少以上の利用者増加が考えられるので、良くなる方向で推移する。	
○	都市型ホテル（スタッフ）	・3月13日から、マスクの着用が緩和される。それにより、かなり消費者の行動マインドが変わってきて、春になり確実に動きは出てくる。歓送迎会の宴会も、前年はキャンセルが相次いだか、今年はキャンセルは3分の1程度である。	

○	タクシー運転手	・週末、特に金曜日の夜の動きがやや良くなってきている。また、マスクを外してもよいという状況になってきたので、少しは良い方向に進むのではないかと。
○	観光名所（職員）	・募集型企画旅行の設定が復活している。予約状況は好調で、既に予約受付不可の日も出てきている。
○	遊園地（職員）	・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染症対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
□	コンビニ（経営者）	・前年よりは少しずつ売上は増えてきているものの、物価や電気代等が値上がりしてきているので、客は慎重になっている。今後、売上が伸びてくるとは思えない。
□	コンビニ（店長）	・2～3か月後には、新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に変わるので、大分期待はしている。ただし、すぐにはそう変わらないと思うので、今までと余り変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・期待できそうにない。
□	乗用車販売店（経営者）	・良くなる理由が見当たらない。
□	自動車備品販売店（従業員）	・春の値上げ等もあるため、来客数は駆け込みで増えるものの、光熱費等の高騰は続いており、景気が良くなるとは言いきれない。
□	スナック（経営者）	・これ以上悪くならないでほしいとの願いを込めての変わらないである。毎回、同じ回答で申し訳ないが、本当に地方は大変である。何とかお願いしたい。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が3月で終了するものの、大会等が再開しているので、繁忙期は変わらない。
□	通信会社（社員）	・年度末の入れ替わり時期が近づいているが、今のところ大きな動きはない。
□	通信会社（社員）	・物価の上昇等、懸念材料の方が多い。仮に給料の昇給率が上がったとしても、結局はそれも市場価格に反映されるのではないかと。
□	ゴルフ場（経営者）	・新しい日本銀行総裁候補が、「金融緩和とインフレ率2%を目指す」ということで、これまでの政策を承継することを評価している。ただし、ブロック経済化による原料やエネルギーのコスト高が続く予想があり、成長戦略の実現性が見えない現状では将来への期待は薄い。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・いろいろな規制が緩和されていけば、客の動きも活発になる可能性はあるが、物価上昇や光熱費の高騰等で、個人の消費意欲がそがれている部分が多い。
□	設計事務所（職員）	・小型物件も含め、依頼数は変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・建築資材の高騰などから、新築別荘販売は低迷が続く。
▲	一般小売店 [家電]（経営者）	・4月以降の物品値上げが3月の消費動向につながれば、多少なりとも売上増に結び付くとは思っているものの、買いだめ傾向は余りなさそうである。購入も店頭だけではない時代に、あえて抱え込む必要もない状況とも見受けられる。
▲	一般小売店 [薬]（経営者）	・仕入単価が上昇しており、売上の確保に苦しむ。
▲	百貨店（営業担当）	・電気代、ガス代が大幅に上がっていること、また、今後も食品関係の値上げは軒並みあるということで、なかなか買物に対して慎重な買い方になっている。値上げが続くので、若干悪くなっていくのではないかと。
▲	スーパー（経営者）	・賃上げ次第かとも思われる。
▲	スーパー（店長）	・毎週のように商材の値上げラッシュが続いていることが原因かと思っている。
▲	コンビニ（エリア担当）	・規制緩和や減税が行われない限り、悪くなる一方ではないかと。
▲	家電量販店（店長）	・物価高に対して政府の対策がない。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新車供給の遅延は続いており、改善は見通せない。原材料高騰に伴う新車価格の上昇も、好調に推移している受注に水を差す懸念がある。
▲	旅行代理店（副支店長）	・燃料価格高騰や物価高により、先行き不透明感による旅行自粛が目立ってきている。物価高騰が収まれば需要は回復すると考えられるが、当面は現状のままの物価高が続くと、旅行需要に影響が出て売上減少につながるのではないかと。
×	商店街（代表者）	・現状の売上を維持するのが精一杯である。

	×	コンビニ（経営者）	・電気代の高騰の影響がある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・物価高騰がかなり響いている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新規や既存の取引先からの見積依頼案件数が増えている。
	□	食料品製造業（営業統括）	・販売数量の減少に加え、電気料金の大幅アップや諸物価の値上げの影響で、大変厳しい状況にある。今後もこの状況はしばらく続く。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ウェブサイト上で商談会の開催を予定しており、効果に期待している。地場産品とのコラボ新商材の見込みがいたので、展開に期待している。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・部品によっては4月から再値上げの連絡が来ており、今でも厳しい状況のなか、更に収益が圧迫される。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・新しい日本銀行総裁候補のコメントで、為替はまた円安方向に進み、材料高が収まらない。春先から夏にかけてはライトジュエリーの需要期だが、売りやすい価格帯での商材作りが難しく、大きな伸びは期待できない。
	□	建設業（経営者）	・今後は人材不足が心配である。
	□	金融業（調査担当）	・現状と同様の状況が続く見込みだが、円安が年度末に向けて進行した場合、原材料価格の上昇から来年度の賃上げにも影響が出る可能性がある。
	□	金融業（経営企画担当）	・ウクライナ問題が終了する気配がないため、変わらない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類へ変更となるので、イベントや旅行等は活発化し、受注量や売上の増加は期待できる。ただし、諸物価高騰により企業でも「新年度からの経費削減」が話題となっており、結果として現状と変わらない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・スーパー等に期待はできない。軒並み価格が上昇しているものの、原材料や光熱費等の上昇分を吸収するだけの価格には追いついていない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・ティッシュが値上がりしていても客は何も言わないが、印刷の紙代の値上げは小言を言われるので、大変つらい思いをしている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・新生活関連の需要が終わることに加え、物価上昇による買い控えが懸念される。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	求人情報製作会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症の状況や経済の動きから、良くなっていく。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の収束と各企業の賃上げが進んでいる点から、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・当地の駅前にある百貨店は、金曜日等の週末に立ち寄っても客がおらず閑散としており、閉店するのではないかという心配の声が少なくない。商材力や接客も、客がいなければ頑張る気持ちもなくなり、士気が上がらないだろう。
	□	職業安定所（職員）	・新規求職者の減少により有効求人倍率は改善傾向にあるものの、一部では物価高騰等の影響による価格競争の激化から廃業する企業も見られる。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・目先の業務に変わりはないが、先行きの不安が拭えない状況が続いている。
	▲	職業安定所（職員）	・原材料価格や諸物価高騰、電気代、燃料費の値上げ等の影響は、当分続く。
	▲	職業安定所（職員）	・4月には、更に電気料金の値上げが予定されており、物価上昇も続いていくことから、回復の兆しが見られない。
	×	—	—